



I.山行 公益事業等 報告	-	1~6
II.行事等、報告、案内・連絡	-	7、8
III.今後の予定	-	8

## I. 計画山行・個人山行 報告

### 1. 久弥祭

日時 : 2022年4月24日(日)

メンバー : 樽矢 堀 太田 大庭 大幡 尾山 埴崎 田井 徳田 堀岡 10名

本日は久弥祭に参加してきました。



天候は曇り空ですが気温が高く少し動くと汗ばんできて、上り下りで汗だくになりました。

今回は山梨の方より深田祭の方々も韭崎バスで遠くから参加されました。

式典の後、大勢の方々が五彩尾根より富士写ヶ岳へ登りました。

山頂は多くの人で賑わっており、休憩する場所も無く前山まで戻り休憩としました。

前山に設置されていた句碑は雪で跡形も無く倒壊して、土台のコンクリートだけが無残に形に残されていました、白山が綺麗に見えるポイントなので再建してもらえればと思います。

頂上で残念なことが、なんと方位盤の表面が傷だらけになっていました。

冬の間、アイゼンなどで方位盤の上を歩かれたのかと思います、この方位盤の設置の時は有志のボッカで担ぎ上げたので思いがあります。

皆様、どうか踏まないようにお願いします。

写真中央の上下・左右に黒くスジが入っているのが傷です。



ちなみに方位盤は銅板で60kg、支部有志も背負子で担ぎ上げた思いのこもった物です、大事に残して欲しいと思います。

先日も白山山頂の方位盤の上に乗って記念写真を撮っているグループが居ました。

常識・マナーという言葉が通じなくなったのか、その様な行動は悲しくなってしまう。

[文・写真：堀]

## 2. 富士写ヶ岳登山道整備

日時 : 2022年5月28日(土)

メンバー : 樽矢 大幡 大庭 池本 田中 藤井 堀 7名 他 他会より応援 10名

本日は富士写ヶ岳の登山道整備。

大内峠から登り小倉谷山の先、火燈古道の最低鞍部手前まで刈り込んだ。

事前に大庭会員が「ここから」と赤布でマーキングしてあるとの事で、田中会員と自分で先行して登って行くがなかなか見つけられない。

「もうそこが最低鞍部ですね」と会話していると、突然、目の前に赤布を発見、道標の古びた赤布と違い、真新しい赤布だ、思わず「あった!」と叫んだ。

後続隊が登ってくる気配が無いので田中会員と二人で先に刈り始める。

しばらくすると後続隊も到着し刈払機で作業開始。

刈払機での作業は早い、田中会員と自分は剪定鋏での作業なので腕が痛いです。

気温が高く暑かった、水分の消費も多く、汗だくでの作業でした。

下山にも2時間ほど掛かるので12時を目処に作業を終了しそれぞれ下山をはじめる。

今回は応援部隊を含め総勢17名で作業を行ったので作業が捗り、予定通りに作業を終えることが出来た。

駐車場に到着し靴を脱ぐと靴下には招かざる友達を連れてきていました。

身体の大きさは7~8mm程度で手足?を入れると10mm程の大きなダニでした、血を吸われる前だったので木々の葉の様な緑色でした。

ミドルカットの軽登山靴でセミロングの靴下だったので靴下に食い込んで止まっており、皮膚までたどり着く前に除去出来ました。

ローカットのトレランシューズで短い靴下だったら確実に皮膚に食い付かれていたかも、里山・低山は要注意です。短パンスタイルは危険です。

帰宅して直ぐにシャワーで洗い流し他に付いていないかチェックしました。



[文・写真：堀]

### 3. 古道調査 石動山 多根道 踏査 “石川支部 古道調査 中間報告”

日時 : 2022年6月11日(日)

メンバー : 樽矢 石森 大幡 田井 埴崎 堀岡 5名

日本山岳会は2025年(令和7年)に設立120周年となります。

つきましては120周年記念事業として、全国の山岳古道を調査し、公開することになりました。

全国33支部をはじめ、多くの会員が調査に参加し、また地元の古道研究家の協力を仰ぎながら2025年の発表を目指しています。

なお発表は日本山岳会HPおよび書籍とし(日本山岳会が選ぶ「日本の山岳古道120選」というタイトルを考えているという事です。

以上の趣旨にて、石川支部も2021年9月より、石川県内の古道のリストアップを進めておりました。

古道の選定には古道の持つ文化的、歴史的、地理的な側面から第一候補として「白山加賀禅定道」を選定。

白山には三禅定道がありますが、石川支部だけで三禅定道の踏査は出来かねるとし、越前、美濃はそれぞれ福井支部、岐阜支部にお願いしています。

石川支部としては能登の国から、いずれかの歴史的な古道をと選定を進めていましたが、当初の候補道は商業的な利用が進んでいて、2022年3月に選定を仕直し、最終的に石動山七口と言われる参拝道のうちの「多根道」としました。他の参拝道は富山県側や、林道拡張工事によって古道の本道が切れ切れになっているものもあり、多根地内からの古道は一部橋が落ちている箇所もあるが、通行できる状態であるとして、候補とした。



空が気になる梅雨の踏査ですが、幸いに雨の気配はなし。踏査隊は長靴、手鎌、のこぎりなど装備の確認。

10:30に石動山資料館の駐車場に集合、石森さんの車を多根伊那那岐神社横にデポしておく。

11:00出発 歴史資料館前向かいの日澄寺と大宮坊の間の道を少し入ると「旧多根道」とある。



大宮坊を左にみて回り込むように進み、少し上ると道が交差する辻にでる、左手に「庚申供養塔」がある。

ここで一休みをして、石森さんから「庚申」の謂われなど解説あり。

これより多根道に入るが、思ったほど荒れてはいない、どなたかの一輪車、杭など登山道整備資材もデポしてあるが5月の事前調査に来た時と変わっていないので、手が入っていない事が伺われる。

多根道は沢に沿って下る道で途中10回ほど沢を渡る箇所があるが、いずれも古い木製の橋が架かっているはずであるが、進んでいくと橋の上にもしっかりと草が生えていて、ややもすると橋の上なのか地面の上なのか気が付かない箇所もある。気になる草を刈り払いしながら、下るが道に迷うことはない。

橋は古いので一部踏板が抜けているところもあるが、足元に気をつけていけば問題はない。

最後の橋はコンクリート製だったが、近年に大水で流れたようで、ここはいったん河原におりてさほど流量がない沢を渡り踏み跡をたどれば、元の多根道に出ることが出来る。我々はここで大休止とし昼食をとる。

その後は踏み跡をたどり、切通しを過ぎ迷うこともなく、田んぼにでる。

広い畦道を通り、林道城石線にでる。多根町はもうすぐである。林道を10分ほどで多根伊邪那岐神社につく、神社の前には石動山方面を指さす「道しるべ地蔵」がある。

〈道しるべ地蔵〉



ここまでで踏査終了、各自、写真とGPSログを取ったので整理して資料とする。

現在は写真をどこで撮ったかなどの記録整理中。

〈多根庚申塔（青面金剛）〉



〈入口〉



加賀禅定道踏査については、当初6月予定だったが天候が良く無くて9月に延期

コラム原稿などは石森会員がまとめて頂きましたので、あとは踏査GPSログ取得と写真撮りになっています。

9月24日25日予定として、御前峰、大汝峰からのハライ谷への計画をしている。

[文・写真：樽矢]

#### 4. 上高地山研集会

日時 : 2022年8月6日(土)

メンバー : 樽矢 大庭 大幡 尾山 池本 埴崎 村上 東野 田井(田井さん御家族2名)  
親子登山西脇さん2名 全13名

3年ぶりの上高地山岳研究所集会。

8月に入ってから石川県は集中豪雨で河川の氾濫などありましたが、幸いにも会員は被災を免れて、皆さんグループに別れての上高地入り。

早朝入りグループは岳沢まで散策。後発組は食材飲み物など運び込む。後発組には白山親子登山に欠かさず参加いただいた西脇さん親子も初上高地と言うことで参加頂きました。

16時には山研に集合、17時より会員の持ち込みの豪華なツマミも出での夕食となる。

池本会員の包丁さばきのこれまた豪華でびっくりするほどの美味しいおかず、スパゲッティ(大好評でした)も出て、お酒も進む。久しぶりの山仲間とのお酒が入った歓談は消灯時間ギリギリまで盛り上がる。

翌7日は朝食を済ませて、緩やかに解散。昨日の後発組の一部(樽矢・西脇2名)は徳沢まで涼しくて爽やかな上高地の森を堪能しての散策、帰りに嘉門次小屋に寄り道して午後に上高地を離れる。

3年ぶりの山研でしたが、管理人山田さんの心遣い、参加の皆さんの元気ぶりに、また夕立にも合わず、まさに真夏の避暑地でのリフレッシュとなりました。

今回は初めての試みでしたが、夕食朝食の副食をバスターミナルレストランに予約発注し皆さんに提供しました。

費用もさることながら厨房での手間が無くなり、またボリュームもそこそこあって(一部も残ったぐらい)皆さんには好評だったのではと、今後はこうした試みで企画幹事の負担が軽減されれば、参加される会員も増えるのではと考えます。

参加の皆さんご苦労様でした。

来年も是非集まりましょう。



[文・写真：樽矢]

## 5. ハライ谷登山口調査

日時 : 2022年8月11日(日)

メンバー : 樽矢 池本 堀 3名

大雨でハライ谷が崩れ、土石流にてホワイトロードと林道岩間線が崩落し通行できなくなっているとの事。

9月に加賀禅定道踏査が控えているので事前に道路状況の確認を行った。

案の定、ホワイトロードも岩間線も一里野ゲートは閉められており通行止めとなっていた。

ゲート手前のスペースに車を停めて準備しているところちょうど工事関係者が車で来てゲートを開けようとしている。立ち話で話を聞くとやはりハライ谷は崩れているので車は通行できないとの事、では徒歩で入っても良いかと聞くと工事関係者としては徒歩で入られるのは止め様がないと、徒歩でも入って欲しく無い口ぶりであった。

ゲート脇をくぐり抜けて徒歩で岩間線に入る。

崩れていて泥だらけのところも歩けるように今日は長靴だ。ゲートからは15分程でハライ谷に着くが、一里野から登っていくと緩い右カーブとなっており曲がるとハライ谷が見える。が、カーブ手前から登山口のある対岸が見えた途端、道路の一部が崩れているのが分かる。そして右側のハライ谷を見ると、かろうじて橋は残っているが、橋上流の堰堤を埋め尽くす幅と高さで岩石が堆積している。

橋を渡って登山口へと歩くが、道路下の土砂は削られておりアスファルトの路面が残っているだけの状態なので恐る恐る渡る。

〈ハライ谷の状況 登山口側から橋方向〉



橋から100m程、ハライ谷の登山口は無事なのを確認。これ以上、道路が崩れなければ禅定道踏査に影響は無いと確認できた。

ハライ谷の下流にあたるホワイトロードの方が甚大な被害である様なので念のためホワイトロード側も確認に行く。こちらは見た瞬間、言葉が出なくなる被害だ。

ハライ谷を渡る橋が落ちており、前後の道路も落ちている。無残にも道路の残骸の白線が残ったアスファルトが谷底に落ちている。

### 〈ホワイトロードの状況

本来はここに橋が架かり左手に向い道路があった〉



工事用の仮設の橋が架けられていたので、対岸に渡るが対岸側の路面は完全に崩落しているが、側壁側の泥壁を削り、こちらでも仮設の足場が付けられていた。

ホワイトロードの料金所ゲート手前まで見てきたが岐阜県側から来たのか、既に重機が入り路面の土砂が取り除かれていた。

復旧にはかなり長い時間が掛かると思われ、自然の猛威を思い知らされた偵察であった。

[文・写真：樽矢・堀]

## II. 行事等 報告、その他 案内・連絡

### 1. 会務報告

感染拡大を防止の為、三水会は少人数にて開催しています。

- ・三水会 2022年5月18日(水) 19時～21時  
参加 堀 埴崎 池本 大幡 樽矢 5名 リモート参加 津田 田中 堀岡 3名  
議題 山岳古道 石川支部推薦は2道 加賀禅定道 石動山多根道 とした  
8月6日 上高地山岳研究所集会は実施 当日は15名として貸し切り予約した。  
5月28日 富士写ヶ岳不惑新道 登山道整備草刈りをする。  
6月11日 石動山多根道踏査予定とする、加賀禅定道は6月25日26日を予定
- ・三水会 2022年6月15日(水) 19時～21時  
参加 樽矢 大幡 堀 中川 埴崎 村上 田井 黒崎 藤井 9名  
議題 11日に実施した山岳古道調査 石動山多根道踏査報告をした
- ・三水会 2022年7月20日(水) 19時～21時  
参加 樽矢 大幡 堀 尾山 池本 安田 田井 村上 東野 藤井 10名  
議題 8月6日7日実施予定の上高地山研集会の詳細打ち合わせ  
参加者確定し山研へ連絡済み、なお、入山は各自として行動も各自、夕刻16時に山研へ集合とした
- ・三水会 2022年8月31日(水) 19時～21時  
参加 樽矢 大幡 堀 田中 池本 村上 田井 黒崎 8名  
議題 山岳古道調査 白山加賀禅定道計画の打合せ  
実施 9月24日25日とし、別当出合から入山、白山荘で宿泊し、ハライ谷へ下る  
詳細は各位へメール・LINE・メッセージにてお知らせ 参加締め切りは9月15日とした  
今回はプロジェクトにて計画書(案)を見て協議した
- ・三水会 2022年9月21日(水) 19時～21時  
参加 樽矢 大幡 堀 田井 埴崎 尾山 6名  
議題 山岳古道調査 白山加賀禅定道計画の確認  
9月24日25日にて踏査予定の計画書作成、確認、登山口・下山口への配車お願い  
その他、プロジェクトにて過去山行の写真等を鑑賞

### 2. 令和4年度総会「令和3年度報告、令和4年度計画」

- ・4月3日(土) 14:00～15:00 場所 : 金沢市総合体育館 第1会議室  
出席者 : 樽矢支部長、大幡副支部長、津田(顧問)、中川(顧問)、岡本(会計監査)、村上(会計監査)、東野、太田、藤井あ(会計)、堀(事務局)  
密を避けるために、出席10名、議決権行使書22名 計32名(支部議決権者37名中)にて事業報告、計画案、会計報告・予算案等を審議・可決しました。 詳細は総会資料をご参照下さい。

### 3. 第27回久弥祭開催について

令和5年度(2023年)の第27回久弥祭は、深田久弥 生誕120周年となり、イベントが予定されています。イベントの日程に合わせて久弥祭も実施となるとのことで4月では無く10月を予定しています。  
参考: 1903年(明治36年)3月11日、石川県江沼郡大聖寺町字中町(現・加賀市)に生まれる。

#### 4. 年次晩餐会について

既に「山 9月号」で案内されていますが本年度の年次晩餐会は12月3日(土)に開催されます。

詳細は「山 10月号」で同封されます。出席を予定されている方、早めに宿泊と交通機関の予約を検討下さい。

#### 5. 古道調査について

石動山多根道については無事に踏査を行う事が出来ました。

加賀禅定道について6月は天候不良のため順延、9月24日25日となりました。

#### 6. 入会

2名の方が入会されました、皆様今後よろしくお祈りします。2022年6月の入会です、「山」2022年7月号(No.926)に掲載されています。登山経験が豊富なお二人です、これからクラブライフをお楽しみ下さい。

- ・ 亀田 行宜 (16952)
- ・ 中村 まさ子 (16958)

### III. 今後の予定

#### 1. 行事予定

支部の行事予定に係わらず、山行について三水会などでリクエスト・提案をお願いします。

2022年度(令和4年度)石川支部事業計画案 2022年(令和4年度)4月度～2023年3月度

実施予定日 (行程及び予備日)	事業 区分	内容・目的	山域・場所	担当
10月23日(日)～ 24日(月)	共益	岐阜支部設立50周年記念式典 五支部合同懇親山行(岐阜支部主催) 【月例山行】、【山祭り】共催	ひだホテルプラザ 猪伏山	岐阜支部
12月3日(土)	本部	支部長会議 → 支部連絡会議 午前中 年次晩餐会(開催決定)	本部(12月第一土曜日)	本部・事務局
12月	共益	【月例山行】	雪山技術研修会と兼ねる	山行委員・事務局
2023年1月	共益	【月例山行】	雪山技術研修会と兼ねる	山行委員・事務局
2月	共益	【月例山行】	雪山技術研修会と兼ねる	山行委員・事務局
3月	共益	【月例山行】		山行委員・事務局
2月	共益	5支部スキー山行(〇〇支部主催)	未定	〇〇支部
月次第三水曜	共益	【月例集会】三水会	金沢総合体育館	事務局
	共益	支部報発行(年2回)	9月・3月	事務局 堀 兼務
	共益	役員会議	必要の都度	事務局

#### 編集後記

新型コロナについて国は全数把握を行わなくなりましたが依然として感染者数が多い状況が続いています。

今夏は北アルプスをはじめ多くの山小屋で陽性者が発生し休業を余儀なくされました。

近隣では立山室堂でも、そして足元の白山室堂でも陽性者が発生し休業となってしまいました。

白山室堂では感染しなかったのは3人だけだったとも。身近でも感染したと耳にします、感染すると数日は高熱が続きかなりつらいと聞きます。

まだまだ安心することなく注意して山行をお願いします。

日本山岳会 石川支部報

発行日 2022年(令和4年度)9月30日

発行者 公益社団法人 日本山岳会

支部長 樽矢 導章

TEL/FAX: 076-237-5769

編集者 支部報担当 堀 正春

(事務局) TEL/FAX: 076-248-0175

E-mail isk@jac.or.jp

HP <https://jac-isk.com/index.html>